

金融経済研究主催コンファレンス

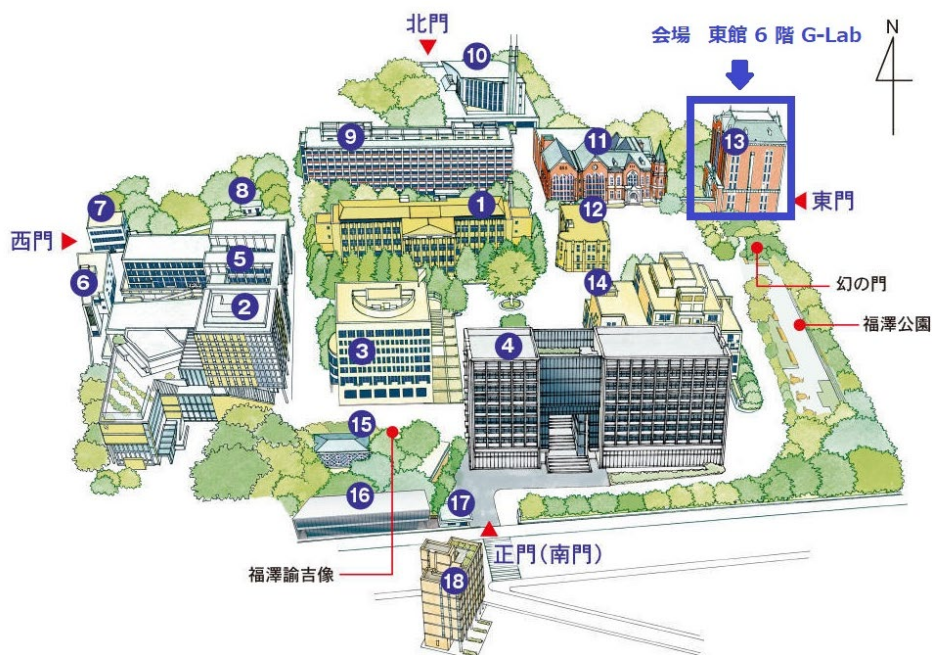
「長期停滞・低金利下の財政・金融政策：

MMT は経済理論を救うか？」

2020年1月31日（金）10：10-18：20（9：30から受付開始）

慶應義塾大学（三田キャンパス）東館6階 G-Lab

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>（キャンパスマップ 13 の建物）



代表 櫻川昌哉（慶應義塾大学）、塩路悦朗（一橋大学）、村瀬英彰（学習院大学）

主催 日本金融学会機関誌『金融経済研究』、慶應義塾大学経済学部・経済研究所

※URL: <https://ies.keio.ac.jp/events/12635/>,論文はここから入手できます。

フォーマット：論文報告 30 分、フロアからの質疑応答 20 分

昼食について：ランチやディナーにご利用いただける慶應義塾大学周辺にございます飲食店のマップ（PDF）を掲載しております。下記 URL または QR コードよりご参照下さい。

URL https://ies.keio.ac.jp/upload/Lunch_DinnerMAP.pdf



プログラム

9:30 開場・受付開始

10:10 開会の辞

第1セッション：座長：塩路悦朗（一橋大学）

10:20-11:10 鎮目雅人（早稲田大学）

「歴史からみた現代貨幣理論の適用可能性：日本の事例を中心に」

11:10-12:00 中野剛志（経済産業省）

「高橋是清と MMT」

12:00-13:10 昼食とディスカッション

第2セッション：座長：白塚重典（慶應義塾大学）

13:10-14:00 金井雄一（名古屋女子大）

「信用の先行と貨幣の内生性—外生的貨幣供給論に基づく金融政策への疑問—」

14:00-14:20 コーヒーブレイク

第3セッション：座長：北坂真一（同志社大学）

14:20-15:10 齊藤誠（名古屋大学）

「貨幣財需要としての公債需要：日本のマクロ経済政策の経験を踏まえて」

15:10-16:00 松尾匡（立命館大学）

「反緊縮三派の議論の整理」

16:00-16:20 コーヒーブレイク

第4セッション：座長：櫻川昌哉（慶應義塾大学）

16:20-17:10 村瀬英彰（学習院大学）

「新古典派均衡モデルにおける MMT 支持的なケース：2 つのマクロ経済学の包摂に向けて」

17:10-18:20 パネル討論「長期停滞・低金利下の財政・金融政策はどうあるべきか」

パネラー：齊藤誠（名古屋大学）、中野剛志（経済産業省）、松尾匡（立命館大学）

村瀬英彰（学習院大学）、司会：櫻川昌哉（慶應義塾大学）

18:20 閉会の辞